

① 旅行業法及びこれに基づく命令

第1問 以下の問1.～問15.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢から一つ選び、問16.～問25.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢からすべて選び、解答用紙にマークしなさい。(配点 4点×25)

問1. 次の記述から、「法第1条(目的)」に定められているものだけをすべて選んでいるものはどれか。

- (ア) 旅行業等を営む者の業務の適正な運営の確保
- (イ) 旅行業等を営む者の組織する団体の適正な活動の促進
- (ウ) 旅行業等を営む者の利便の増進

- a. (ア)(イ) b. (ア)(ウ) c. (イ)(ウ) d. (ア)(イ)(ウ)

問2. 旅行業の登録に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 第1種旅行業者が、第2種旅行業への変更登録の申請をしようとするときは、観光庁長官に申請しなければならない。
- b. 旅行業者代理業者が、登録業務範囲を第3種旅行業務に変更しようとするときは、主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に変更登録の申請をしなければならない。
- c. 旅行業者が法人である場合に、代表者の変更があったときは、その日から30日以内に、登録行政庁に変更登録の申請をしなければならない。
- d. 旅行業者代理業の新規登録の申請をしようとする者は、主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に申請しなければならない。

問3. 報酬を得て、次の行為を事業として行う場合、旅行業の登録を受けなければならないものだけをすべて選んでいるものはどれか。

- (ア) コンビニエンスストアが、スポーツ観戦の入場券を販売する行為
- (イ) 観光協会が、旅行者の依頼を受けて、他人の経営する宿泊施設を予約する行為
- (ウ) 宿泊業者が、インターネットを利用して、自ら経営するホテルの宿泊サービスと他人の経営する観光タクシーのセットプランを販売する行為

- a. (ア)(イ) b. (ア)(ウ) c. (イ)(ウ) d. (ア)(イ)(ウ)

問4. 登録業務範囲に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 第2種旅行業者は、総合旅行業務取扱管理者を選任している営業所においては、本邦外の企画旅行（参加する旅行者の募集をすることにより実施するものに限る。）を実施することができる。
- b. 地域限定旅行業者は、本邦外の旅行を一切取り扱うことができない。
- c. 第1種旅行業者の営業所では、国内旅行業務取扱管理者を選任していれば、本邦外の旅行を取り扱うことができる。
- d. 第3種旅行業者は、本邦外の企画旅行（参加する旅行者の募集をすることにより実施するものに限る。）は実施できないが、一の企画旅行ごとに一の拠点区域内において実施される企画旅行は実施できる。

問5. 次の記述のうち、旅行業等の登録の拒否事由に該当しないものはどれか。

- a. 法人であって、その役員のうち暴力団員等に該当する者があるもの
- b. 旅行業者代理業を営もうとする者であって、その代理する旅行業を営む者が2以上であるもの
- c. 営業所ごとに法の規定による旅程管理業務を行う主任の者を確実に選任すると認められないもの
- d. 申請前5年以内に旅行業務に関し不正な行為をした者

問6. 営業保証金に関する次の記述から、正しいものだけをすべて選んでいるものはどれか。

- (ア) 地域限定旅行業の新規登録を受けた者が供託すべき営業保証金の額は、登録の申請時に添付した書類に記載した旅行業務に関する旅行者との年間取引見込額が400万円未満の場合は、15万円である。
- (イ) 登録行政庁は、旅行業の登録をした場合において、旅行業者が登録の通知を受けた日から14日以内に供託をした旨の届出をしないときは、その定める7日以上の期間内にその届出をすべき旨の催告をしなければならない。
- (ウ) 旅行業者代理業者は、主たる営業所の最寄りの供託所に、所属旅行業者を通じて営業保証金を供託しなければならない。

- a. (ア) (イ) b. (ア) (ウ) c. (イ) (ウ) d. (ア) (イ) (ウ)